

東日本大震災・福島原発事故2周年

つながろうフクシマ!
さようなら原発 ヒロシマ大集会

さようなら原発

原発の新增設は認めない!
子どもたちに原発も核もない未来を!
原発よりも「いのち」が大切!

つながろうフクシマ! さようなら原発大行動



3.9-3.11
全国のアクション

- 日 時：3月10日(日) 午後1時から
- 場 所：広島市 中央公園
- 内 容：12:40～ うたごえ
- 13:00～ 集会
 - ・呼びかけ人のメッセージ
 - ・祝島からの報告
 - ・福島被災者の訴え
 - ・母親からのアピール
- 14:00～ パレード出発(会場から稲荷橋西詰まで予定)

呼びかけ人



坪井 直
(被爆者)



平岡 敬
(元広島市長)



森瀧春子
(市民運動家)



山田延廣
(弁護士)



さようなら原発 1000万人アクション in ヒロシマ集会 (2012.3/11)

3月10日は中央公園へ集まろう!

■連絡先：藤本 / ☎ (082) 503-5855 ☎ (090) 5708-0117

「つながろうフクシマ！さようなら原発 ヒロシマ大集会」

呼びかけ文

東日本大震災・福島原発事故からまもなく2年が経ちます。亡くなった2万人の人々を切に哀悼します。そして、今なお16万人もの人びとが避難生活を余儀なくされているなど被災地の復興・再生については、まだ先が長い道のりになります。

昨年末の総選挙の結果、改憲を振りかざす安倍自公政権が誕生しました。安倍首相は「原発はゼロベースから見直す」とした原発推進の姿勢を明確に打ち出しています。原発推進政策へ戻すことは絶対にあってはなりません。

私たちは、福島の大惨事の反省もなく、被災した人びとを放棄して再稼働に急ぐ暴政を認めることはできません。活断層だらけの日本列島で、原発を増設・稼働させようとする犯罪的行為は、さらに許すことはできません。

海洋の放射能汚染、大地の放射能汚染は、生きもの・食べ物を通して、人間の健康に悪影響を及ぼします。被災者の避難・保養を進め、病気の予防・治療・回復を推進し、子どもたちの未来を守らなければなりません。

いま、私たちの脱原発運動の力が試されています。福島原発事故から2年目を迎えるにあたり、脱原発とともに被災者への援護・連帯を掲げて、3月10日、「つながろうフクシマ！さようなら原発 ヒロシマ大集会」を開催します。

「人類は生きねばならぬ」「核絶対否定」という強い声を被爆地ヒロシマで一つにし、核廃絶に向けて大きな一歩を踏み出そうではありませんか。

県民のみなさん、広島市中央公園への大結集を呼びかけます。

2013年2月

呼びかけ人

坪井 直
平岡 敬
森瀧 春子
山田 延廣